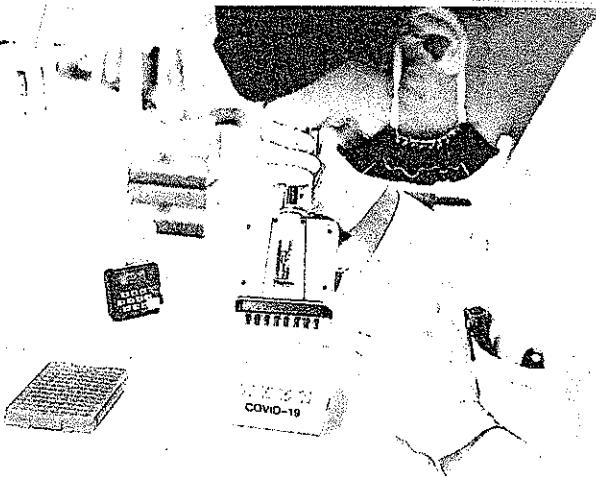


変異株迫る足音

遺伝子の変化で新たな性質を獲得した新型コロナウイルス変異株の流入が本格化している。政府は水際での監視を強め、従来よりも感染力が強く「既存株から置き換わりつつある」(研究者)との声も上がる。今後、変異株が国内で広がって流行の主役が交代すれば、新たな火種となり、国内の「第四波」を起こしかねない。関係者は危機感を強めている。



主な新型コロナウイルスの変異株

種類	特徴	日本上陸判明
英国株	・感染力が強い恐れ (推定で最大7割ほど強い)	2020年12月25日
南アフリカ株	・感染力が強い恐れ ・免疫を弱める恐れ (一部のワクチンが効きにくい)	12月28日
ブラジル株	・感染力が強い恐れ ・免疫を弱める恐れ	21年1月10日
名称未定	・免疫を弱める恐れ (関東などで検出)	2月

※国立感染症研究所などによる

◆ 三種類

昨年1月、最初に流入したのは中国・武漢で見つかったウイルスだったが、3月に始まった流行第一波は欧洲のウイルスが引き起しした。

日本感染症学会によると

新型コロナの変異は一週間に一回ぐらい起きる。世界で各国で流行が続く中、多くの変異株が生まれたはずだが、残ったのはその中の1握りだ。

現在、最も警戒されている変異株は、英國と南アフリカ、ブラジルで流行が始

「E484K」と呼ばれる

変異も備えており、このウ

イルスに対する人間の免疫

を弱める性質を持つよう

だ。英製薬大手アストラゼ

ネカ製ワクチンは南ア株に

効かないとの報告も出

いる。

◆ 混合型

英南部ケント州で昨九月に初確認されたとみられる英國株は、せきや倦怠感が出やすい。英国内の新規感染者の約9割を占める

と、歐州各国は水際対策を

強化したが失敗。フランス

では、二月中旬時点で英國

株が新規感染者の半数に迫

っている。感染力の強さが

災いしたのか、既に世界約

九十カ国に広まつた。

南ア株は約四十五カ国、

ブラジル株も二十カ国以上

に拡大。歐州では変異株同

士の混合型も見つかってお

り、感染力が強くワクチン

が効かない「スーパー変異

株」(英紙サン)の脅威も

叫ばれている。

英ウォーリック大のロー

レンス・ヤング教授(ウイ

ルス学)は同紙に「むしろ

混合型の確認がなぜ世界で

まだ少ないのか驚きた」と

警告した。

英南部ケント州で昨九月に初確認されたとみられる英國株は、せきや倦怠感が出やすい。英国内の新規感染者の約9割を占める

と、歐州各国は水際対策を

強化したが失敗。フランス

では、二月中旬時点で英國

株が新規感染者の半数に迫

っている。感染力の強さが

災いしたのか、既に世界約

九十カ国に広まつた。

南ア株は約四十五カ国、

ブラジル株も二十カ国以上

に拡大。歐州では変異株同

士の混合型も見つかってお

り、感染力が強くワクチン

が効かない「スーパー変異

株」(英紙サン)の脅威も

叫ばれている。

英ウォーリック大のロー

レンス・ヤング教授(ウイ

ルス学)は同紙に「むしろ

混合型の確認がなぜ世界で

まだ少ないのか驚いた」と

警告した。

◆ 名無し

◆ 混合型

◆ 混合